

日本肝胆膵外科学会高度技能医制度委員会（編）

肝胆膵高難度外科手術

齋藤洋一

神戸大名誉教授/肝胆膵外科学会二代目理事長

日本肝胆膵外科学会は、この領域に携わるアクティブメンバーで構成された専門医集団の学会として発足したものであります。この領域の高難度な手術をより安全かつ確実に行える外科医を育てることを目的として、2008年2月の理事会で「高度技能医制度」が生まれました。

この領域の先達にはいわゆる黄金の手を持つ外科医が少なからず存在していましたが、国民の要請に応える体制づくりのためには、常にこのような技術を駆使できる high volume center の設置や、きめ細かい指導教育体制の確立が急務とされてきました。各学会を中心に種々の診療ガイドラインが作成され、各疾患に対する共通の認識がもたれるようになりましたが、外科技術面での巧拙の認識や独特のコツについてはまとめられたものがないのが現状であります。

このような要請に応じて日本肝胆

膵外科学会・高度技能医制度委員会の手により作成した指導書が本書であります。これまでこの面での知識・情報の取得に苦勞してきた、まさに現役バリバリの高度技能医とも言える人たちが魂を込めて書き上げたのが本書と言えるかと思います。

内容は多年にわたる経験と失敗を踏まえた解決策が簡明に記されており、特に留意点が章の冒頭に重要ポイントとして明示されています。また、各章ごとに Dos & Don'ts として手技の進行に応じたチェックポイントの要点が記されているのも嬉しく感じます。先輩たちから口酸っぱく言われたことや、自らが工夫したことが Column として記され、現場意識を盛り上げてくれるとともに息抜きの一と時を与えています。各章ごとに短く簡明に記されているので、これから手術に臨む術者が一読しておけば、修羅場にあっても安泰な精神状態を維持できる座右の書

とも思いました。

これから、この途にチャレンジする若い外科医にとっても、また指導に携わる上級医にとっても必読に値する書としてお勧めしたいと思います。

本制度の発足にあたっては、高田理事長ほか役員の皆さまの数々のご努力があったと思いますが、制度実施の評価を見ることなく本年8月に亡くなられた東京女子医大名誉教授 故 羽生富士夫初代理事長のご冥福を祈るとともに、生前私たちに示された外科医の情熱をこの制度で受け継いでいかれることをお祈り申し上げて、推薦の文といたします。

●B5/頁 324/2010 年/定価 10,500 円（本体 10,000 円+税 5%）

[ISBN978-4-260-01042-9]

医学書院 刊